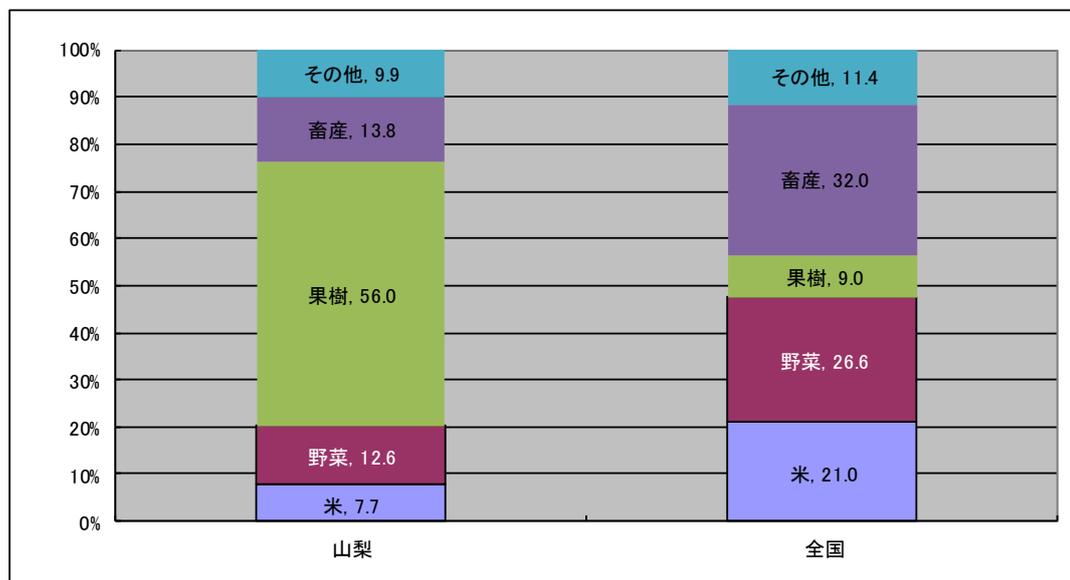


2 農林畜水産業の状況

(1) 農業生産の状況

本県の農業生産の状況



平成25年農業産出額

① 果樹

本県では、落葉果樹の栽培に適した自然条件を最大限に活かして、生産量日本一のぶどう、もも、すももをはじめ、おうとう、かき、りんご、うめなど多種多様な果実が生産され、「果樹王国山梨」として全国に名を広めており、市場や消費者から高い評価を得ています。

また、県産ぶどうを主原料とするワインの生産も全国のトップクラスです。

② 野菜

本県の野菜は、甲府盆地・ハケ岳南麓地域・富士北麓地域を中心に、立地条件や自然条件を巧みに活かしながら、特色ある産地が形成されつつあります。最近では、環境に配慮した農産物栽培もされています。

③ 畜産

本県の畜産は、主に、峡北地域と富士西麓地域において酪農と肉用牛経営が、甲府盆地周辺において養鶏と肉用牛経営が営まれており、甲州牛・甲州ワインビーフ・甲州麦芽ビーフ・甲州富士桜ポーク・甲州地どり、甲州頬落(ほおとし)鶏等の県産ブランド畜産物の生産が行なわれています。また、生産者自らが畜産物を加工販売するいわゆる6次産業の取り組みも進められています。

④ 米

本県の稲作は、峡北地域を中心に、峡中地域や富士北麓地域で生産されており、特に、峡北地域は、おいしい米の産地として高い評価を得ています。一方、米穀の需給及び価格の安定を図るため、主食用米の需給調整に取り組んでいます。

⑤ 水産

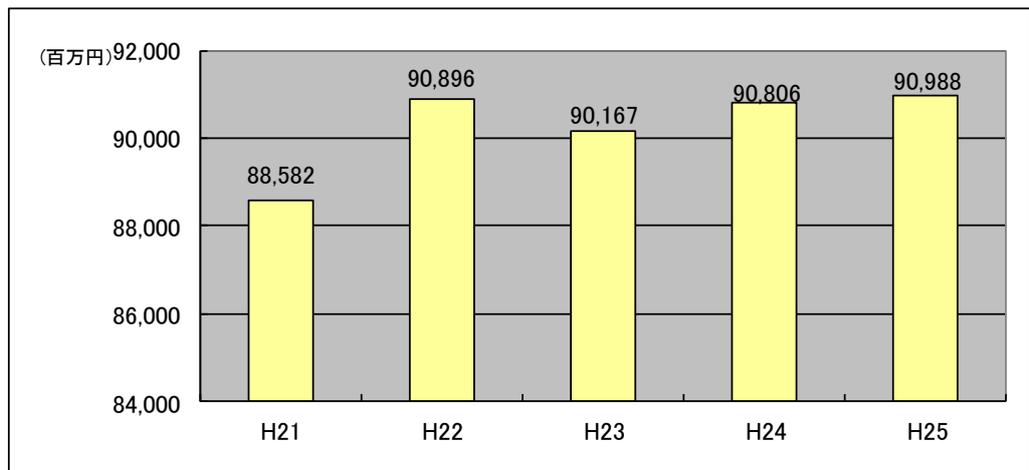
本県の水産は、周囲の山々を源とする清流や湧水を利用した冷水魚の養殖や河川湖沼でのアユ、ヤマメ等を対象とした遊魚が主体となっています。

⑥ 特用作物・地域特産品

本県の茶栽培面積は、峡南地域が大半を占めており、「甲斐のみどり」の銘柄で消費者の好評を得ています。

また、近年、地域の顔となる農産物の生産やその加工品づくりが行われ、多種のジャムやシロップ漬け、手づくり味噌等の新たな特産品が作られています。

本県の農業生産額(平成 21～25 年実績)



山梨県農業及び水産業生産額実績

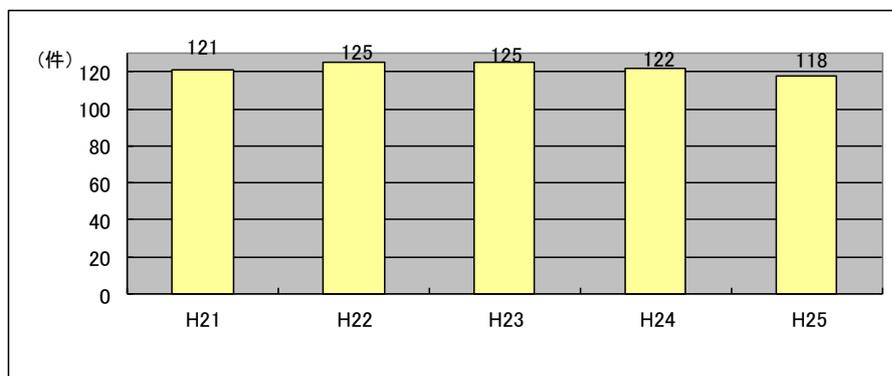
本県の農業生産額は、近年、900億円程度で横ばい傾向となっています。

(2) 農産物の地産地消

ア 本県の直売所開設件数の推移

平成25年度の直売所数は118箇所、前年度に比べ4箇所減少しました(新規1箇所、廃止等5箇所)。平成23年度の125箇所をピークに減少しています。

本県の直売所開設件数の推移

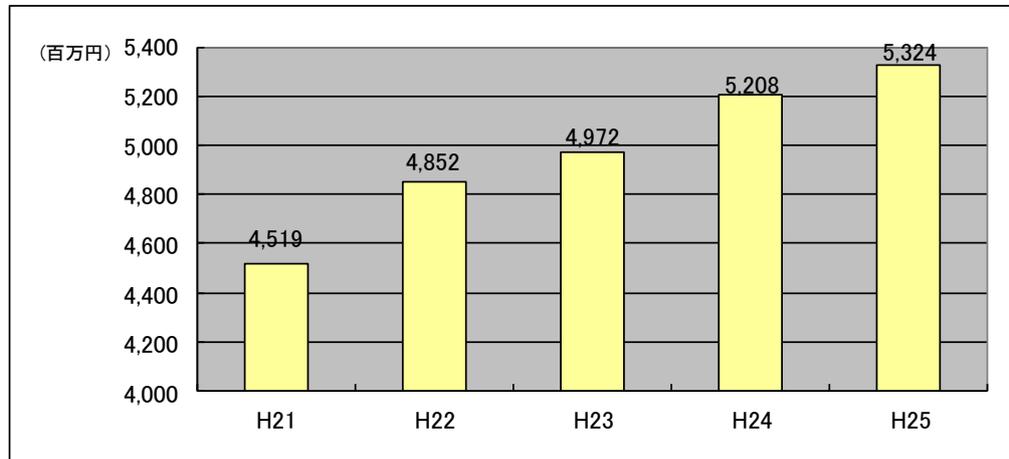


県果樹食品流通課調査

イ 本県の直売所における農畜産物の売上額

平成25年度の農畜産物の売上額は、約53.2億円で前年度に比較して2.2% (1.1億円)増加しました。売上額は、過去10年間、年々、増加しています。

本県の直売所における農畜産物の売上額

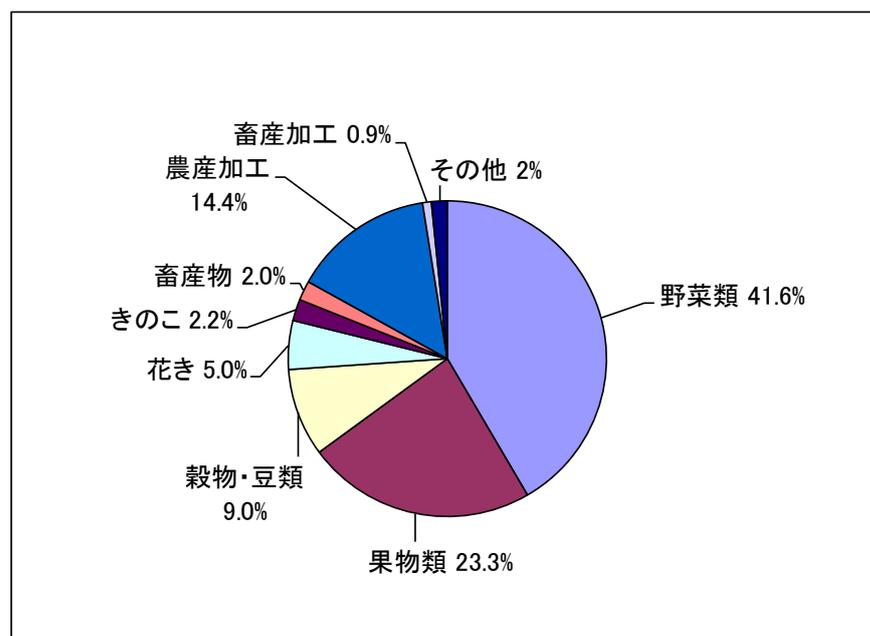


県果樹食品流通課調査

ウ 品目別売上げ内訳

売上額が最も多かったのは、野菜類(山菜を含む)で41.6%(22.1億円)、次いで、果物23.3%(12.4億円)、穀物(米類)・豆類9.0%(4.8億円)、花き5.0%(2.6億円)の順でした。4年前と比較して順位変動はありませんでした。

品目別売上げ内訳(平成25年)



県果樹食品流通課調査